

## 施設の特徴ある取り組み

### ●高浜町らしい福祉の拠点づくり

新たな福祉の拠点は高齢者だけでなく、小中高生や子育て世代の方々、また障害の有無に関わらず、多世代の方々が様々な活動を主体的に行うことができる場です。

建物の外観は家の形が集まったデザインを採用しています。様々な福祉の活動団体が一つ屋根の下で集い、助け合い、支え合う福祉の拠点となるよう願いが込められています。

方針策定から建物完成までは、地域のこどもから高齢者、福祉団体のみなさんなど非常に多くのご意見をいただき、共に創り上げた高浜町ならではの福祉の拠点となりました。



様々な家の形が集まったように見える外観



高浜中学校との協働によるデザイン検討



施設整備に向けた検討委員会の様子



こどもたちのイラスト入りの工事仮囲い

### ●地球に優しい省エネルギー建物

屋根及び外壁部へ断熱材やLow-E複層ガラスを採用することで、建物の高断熱化・高気密化を実現しました。また、屋上には約70kW相当の太陽光パネルを設置し、建物全体の消費エネルギー量の20%削減可能な施設としました。

これらの技術の組み合わせにより、本施設は高浜町内では初となる※ZEB Readyを達成しました。

※ZEB:「Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)」の略称。「快適な室内環境を保ちながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指した建物」を指す。



ZEB認証を取得



景観に配慮したひし形状の太陽光パネル



建物外周部の高断熱化・高気密化



屋上に整備された非常時の発電機



情報発信の場となるメディアルーム

### ●誰一人取り残されない地域防災の拠点

災害時の拠点として停電時も3日間続けて運転可能な自家発電設備を備え、有事の際の避難施設として機能させます。また、2階大ホールは約200㎡の避難所として活用が可能です。建物地盤は50cmかさ上げし、ハザードマップでの想定最大規模降雨においても浸水しない建物としています。

### ●人に優しいデジタル化推進の拠点

1・2階ホールには75インチの大型サイネージを設置し、常時情報発信を行います。各会議室にはWEB会議用モニターを備え、2階のメディアルームでは動画撮影や編集が可能です。これらの設備により、誰もが気軽にデジタルに触れられる環境を整え、デジタル発信の拠点として活用します。

## 全体完成イメージ(令和9年4月～グランドオープン予定)



高浜町立 高浜中学校

高浜町地域総合福祉センター  
いぶき

子生川

未来橋

駐車場(既設)

駐車場(新設)

駐車場(新設)

老人憩いの家  
「瑞祥苑」跡地

本施設は、経済産業省資源エネルギー庁の補助金(令和5・6年度災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金、令和6年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金)を活用して整備しました。

### 問い合わせ先

高浜町役場 保健福祉課(地域福祉推進室)  
住所 福井県大飯郡高浜町宮崎第67号1番地1  
電話 0770-50-9004  
メール ibuki@town.takahama.lg.jp

令和8年3月25日時点



2026.04  
NEW

OPEN

高浜町地域福祉総合センター

いぶき



ともに支えあい、暮らしていける地域共生社会の実現を目指し、地域福祉活動の拠点を整備します!

高浜町では、誰もがその人らしく、いくつになっても住み慣れた地域でともに支えあい、暮らせる地域共生社会の実現をめざし、将来に不安のない地域福祉体制をつくります。この度、社会福祉協議会を中心とした地域福祉活動の拠点を高浜地区に移転・集約し、こども・高齢者・障がい者福祉が一体となった社会福祉複合施設の完成を迎えました。



コミュニティスペース「大きなまちの縁側」が地域の福祉をつなげる施設設計コンセプト図



施設案内図



**10 会議室**  
約25人が利用可能な中会議室。  
部屋を2分割することで小部屋利用も可能。



**11 大ホール**  
約150人が利用可能なホール。収納式舞台により、平土間とした場合はより広く活用が可能。



**12 コミュニティスペース（2階）**  
電源コンセントが使えるカウンター机やベンチが大階段吹き抜け周囲に配置。



**13 メディアルーム（利用要相談）**  
動画撮影や編集が可能な機材を完備。ポッドキャスト等のイベントにも利用が可能。



**14 障がい福祉エリア**  
障がいのある方が、年齢に応じた支援や自立に向けた活動に取り組める部屋をはじめ、静養室や浴室などの設備を整備。



**9 多目的ホール**  
約50人収容可能なホール。会議や講座、交流イベントなど多様な目的に応じて利用が可能。



**8 健康・フィットネスルーム**  
ヨガや体操などに利用可能な運動室。ルームランナー等の健康器具を整備。



**7 娯楽室**  
カラオケや楽器演奏、麻雀等に利用が可能。



**6 和室**  
10畳一間の和室。畳敷きの落ち着いた空間で、多目的に利用が可能。



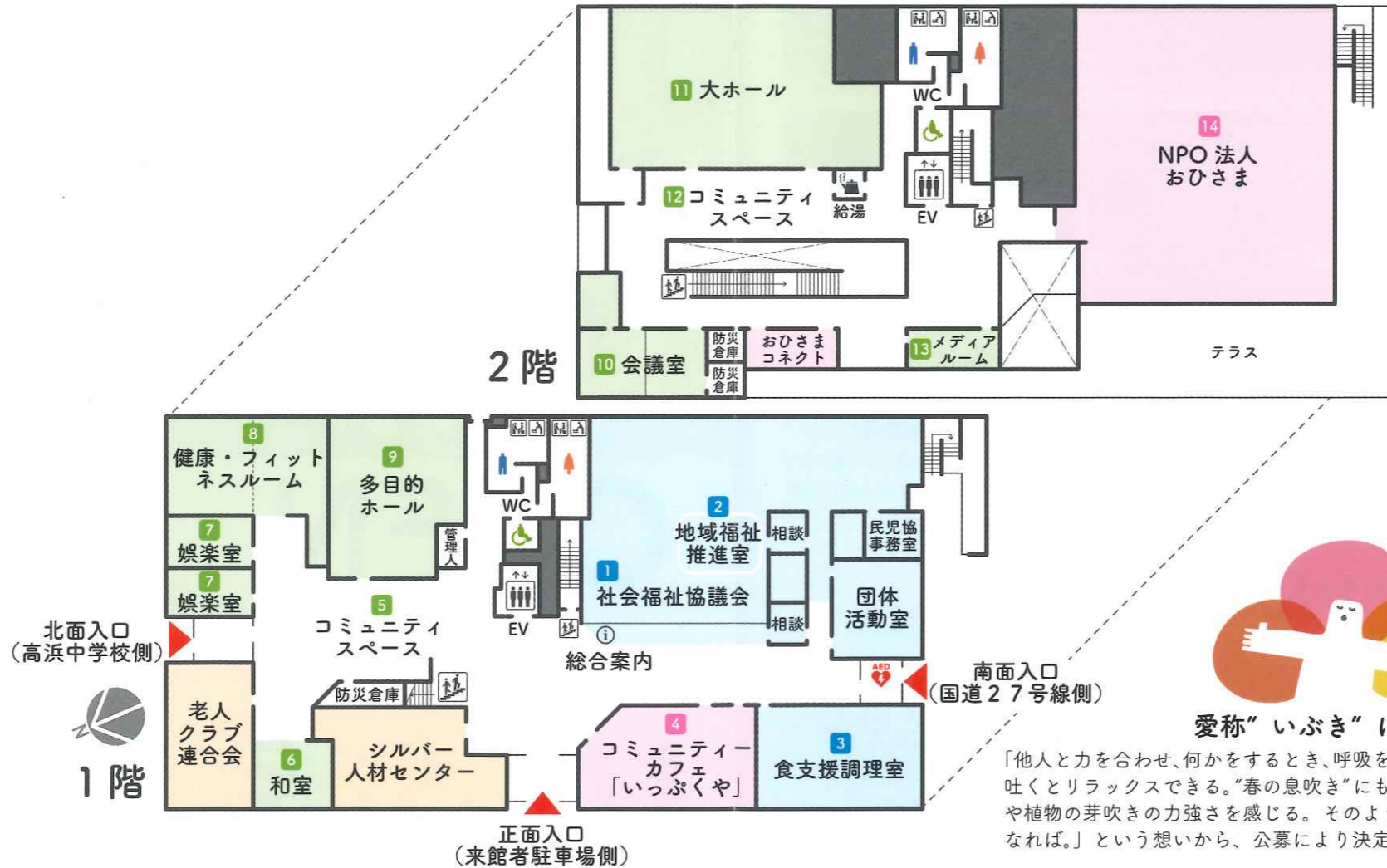
**5 コミュニティスペース（1階）**  
休憩できるベンチや展示台を設置。緩やかでのぼりやすい大階段が1～2階をつなぐ。



**4 コミュニティーカフェ「いっぷくや」**  
障がい者の就労訓練の場でもあるカフェ。思い思いに過ごせるソファや畳スペースを整備。



**3 食支援調理室（一般利用不可）**  
高齢者や障がいのある方へ提供のお弁当を調理する環境を整備し、地域の配食サービスを支援。



愛称“いぶき”について

「他人と力を合わせ、何かをするとき、呼吸を合わせる。吐くとリラックスできる。“春の息吹き”にもあり、木々や植物の芽吹き力強さを感じる。そのような施設になれば。」という想いから、公募により決定しました。

**1 社会福祉協議会（総合相談窓口）**  
社会福祉協議会のカウンターを建物中央に配置した、誰もが相談しやすい窓口。



**2 保健福祉課 地域福祉推進室**  
地域福祉の新たな拠点で、断らない相談窓口として地域の方に寄り添って支援していく。